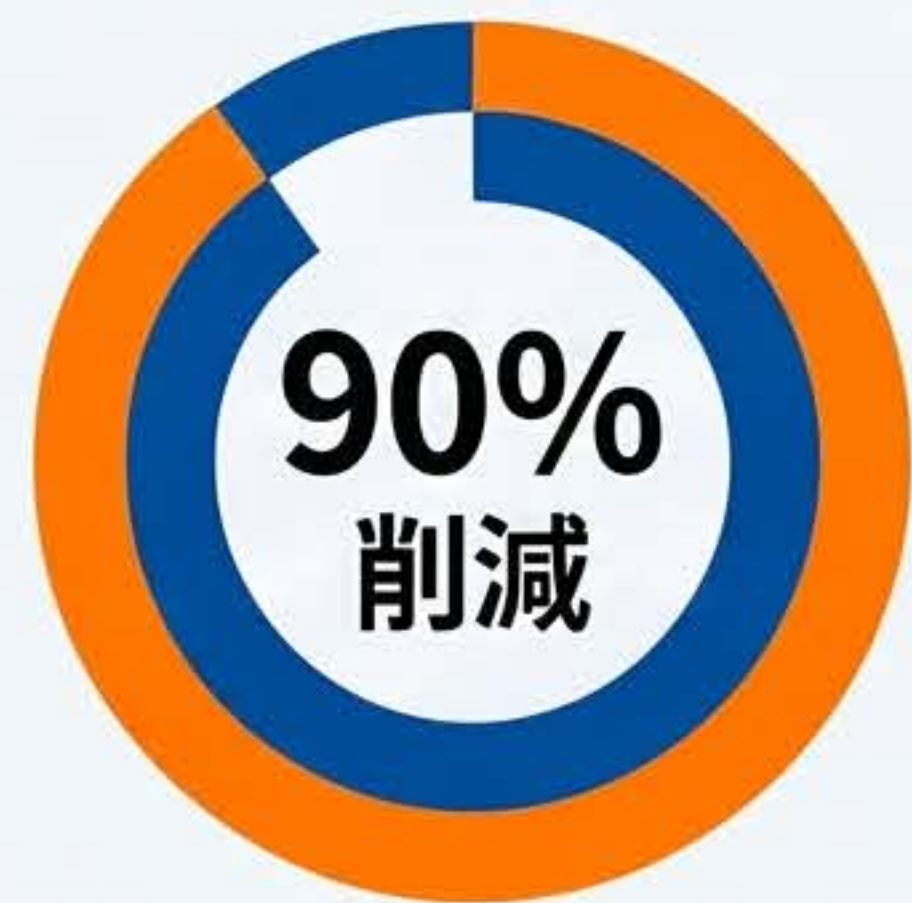


特許業務を最大90%削減：オムロンの知財AIエージェント「ALBERT」の戦略的活用

圧倒的な導入効果



特許調査・発明説明書 作成の工数を90%削減

先行技術の調査や発明の内容をまとめる「発明説明書」の作成という特定の2工程において、従来比で9割の作業時間を削減しました。



特許関連業務全体の 工数を50%削減

AIによる要約・分析・プロンプト化の推進により、知財業務全体を通じても半分（50%）の効率化を達成しています。



約8割

知財業務の約8割をプロンプト化

人手で行っていた作業を徹底的に洗い出し、その大学を生成AIへ指示できる形に落とし込むことで省力化を実現しました。

オムロンの生成AI活用「3層構造」

第1層：全社推進プロジェクト「AIZAQ」

2023年9月始動。経営層と現場が融合し、2027年末までに国内社員の約30%（3,000名）の参加を目指す全社的な推進基盤です。

第2層：R&D特化基盤「RD Buddy」

AWS上の専用プライベート環境で構築された、研究開発に特化した安全な生成AIプラットフォームです。

第3層：AIエージェント「ALBERT」

知財業務の専門アプリケーションとして、RD Buddyの上で動作し、高度な特許分析・検索を担います。



「ALBERT」の技術アーキテクチャ

1. 特許データの取り込みと前処理



Japan Patent Office



Amazon S3
DynamoDB

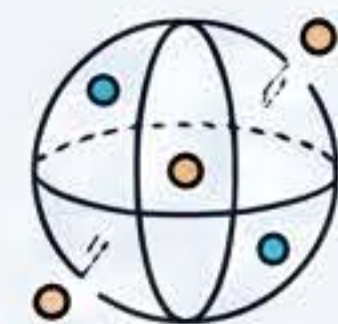


メタデータ管理

2. 意味的検索（セマンティック検索）



Titan Text Embeddings V2



Amazon OpenSearch
Serverless



精緻的検索

3. 高度な生成・分析

自然言語問い合わせ



Claude 3.5 Sonnet



詳細な分析レポート
自動生成

セキュリティと信頼性の確保



閉域接続と多層セキュリティ
社内LANとAWSを閉域接続し、機密会話をDBから除外する「プライベートモード」や監査ログ管理を実装しています。



知財専門職によるリードと内製化
外部ツールに頼らず、業務相職を持つ知財専門家が自ら実装をリードすることで、現場のニーズに合致した高い精確度を実現しました。